



モノクロ

53p

中出し
孕ませ

パイズリ

繁殖母

おかわり♡

息子の同級生と2人目の
子作りはじめました

（とも許可さ
いふにまよ

登場人物



小久保希美(こくぼのぞみ)

夫、息子と3人暮らし。

俺君から「繁殖母」に指名されてしまい
渋々彼との子作りをすることに…

すでに俺君との間に一子を儲けている。

俺君のチンポに逆らえず、2人目の
子作りを承諾する。

最初は嫌々行っていた性交だが
いつしかそれを待ち望むように…



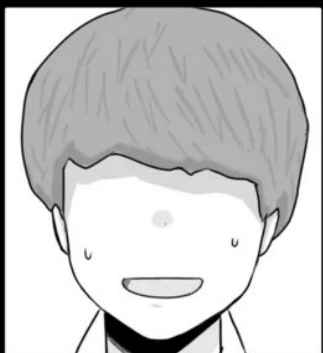
俺君

政府認定の一級種付け士。

希美との間に一子を儲けている。

希美を再び「繁殖母」に指名し
ねちっこく子作り交尾を楽しんでいる。

裕之の同級生。精力絶倫。



裕之

希美の息子。同級生の俺君に最愛の母を
NTRられる。マザコン気味。

母親の痴態を想像して日夜悶々と
している…

じゃあママ
行ってくるね



はい
いってらっしゃい

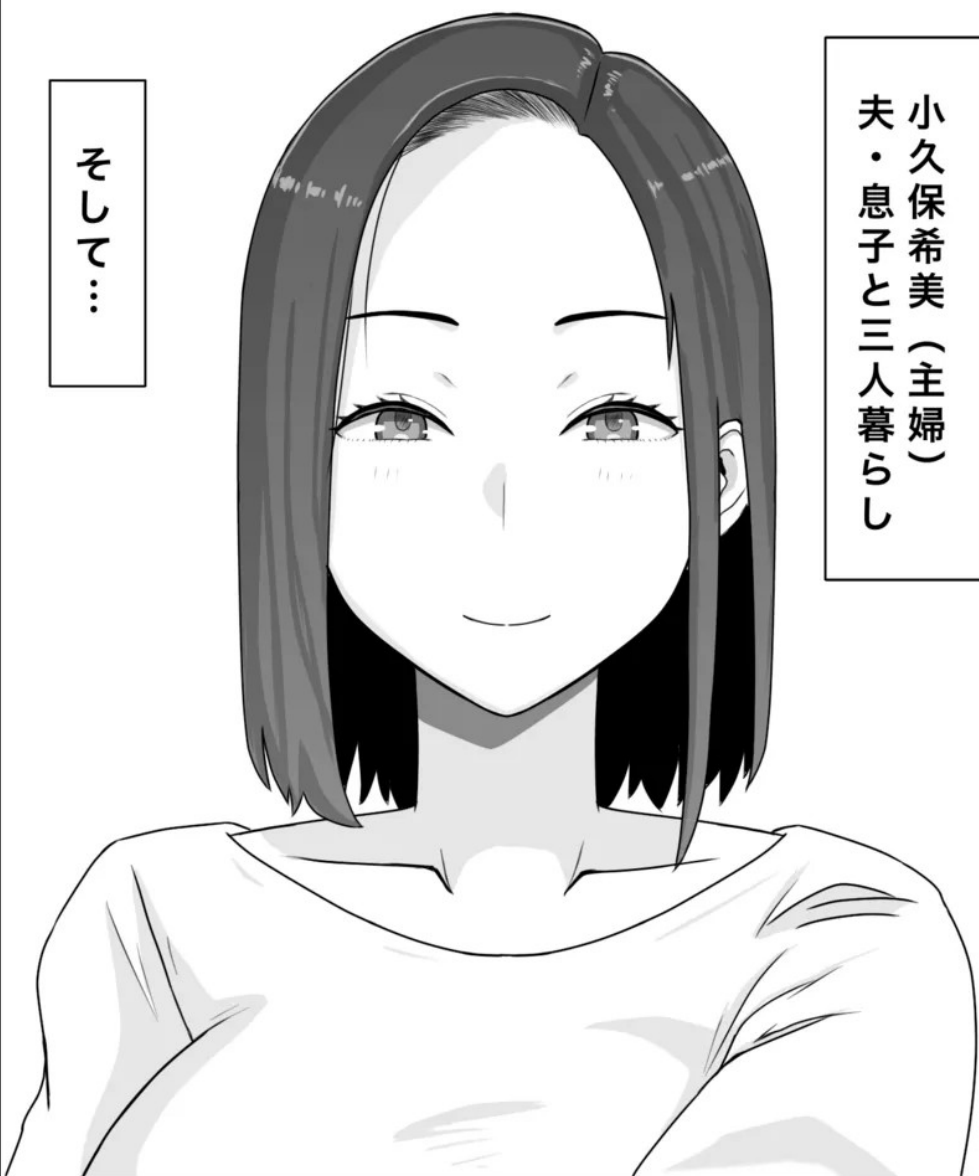
気をつけてね

さーて



小久保希美（主婦）
夫・息子と三人暮らし

そして…



ガー
ガー



あッ

ピクニッ

んっ…
動いた…

しかもこの胎児は

さらにお腹の中に一名…

ポコポコ



あーうつせえな。
今からお前の母ちゃんと
生ハメセックスキメて

孕ませるから
お前はしばらく
外出してろってんだ

俺ずっとお前の
母ちゃんのこと
イイなって
思ってたんだよ

イイって…
ぼ、僕の
ママなんだぞっ

とある事情により

夫とは違う：他人の種によって
孕んだ生命なのである…

ママっ

妊娠しちゃっ



約1年前

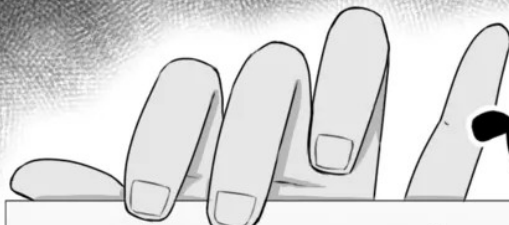
ぽんぽん

人口問題担当省

■■■■殿

第一級種付け士として必要な能力を有することを証明する。
自ら指名した繁殖母に対し随時生殖行為を行うことを許可する。

貴殿は絶倫である



分かったから
もうしまつて
くださいっ

いくら少子化対策だからって…

まさか…
息子の同級生と
こんなことになるなんて…

てゆーか、何で
私みたいなおばさん
選ぶのよっ!?



ぽんぽん

あーいいっすねー
そーゆー反抗的なトコ♡

ちよっ…
触らないで！

自分で
脱ぎますっ

ぱっ

ズッ

うひょろ♪
小久保の母ちゃんとできるなんて
コーフンするぜ！

ドッ

ドッ

サイツター…

ドッ

ドッ

するるるっ

深刻な少子化に歯止めをかけるべく
政府によって導入された
「種付け士」制度…



種付け対象に選ばれた女性は
「繁殖母」と呼ばれ

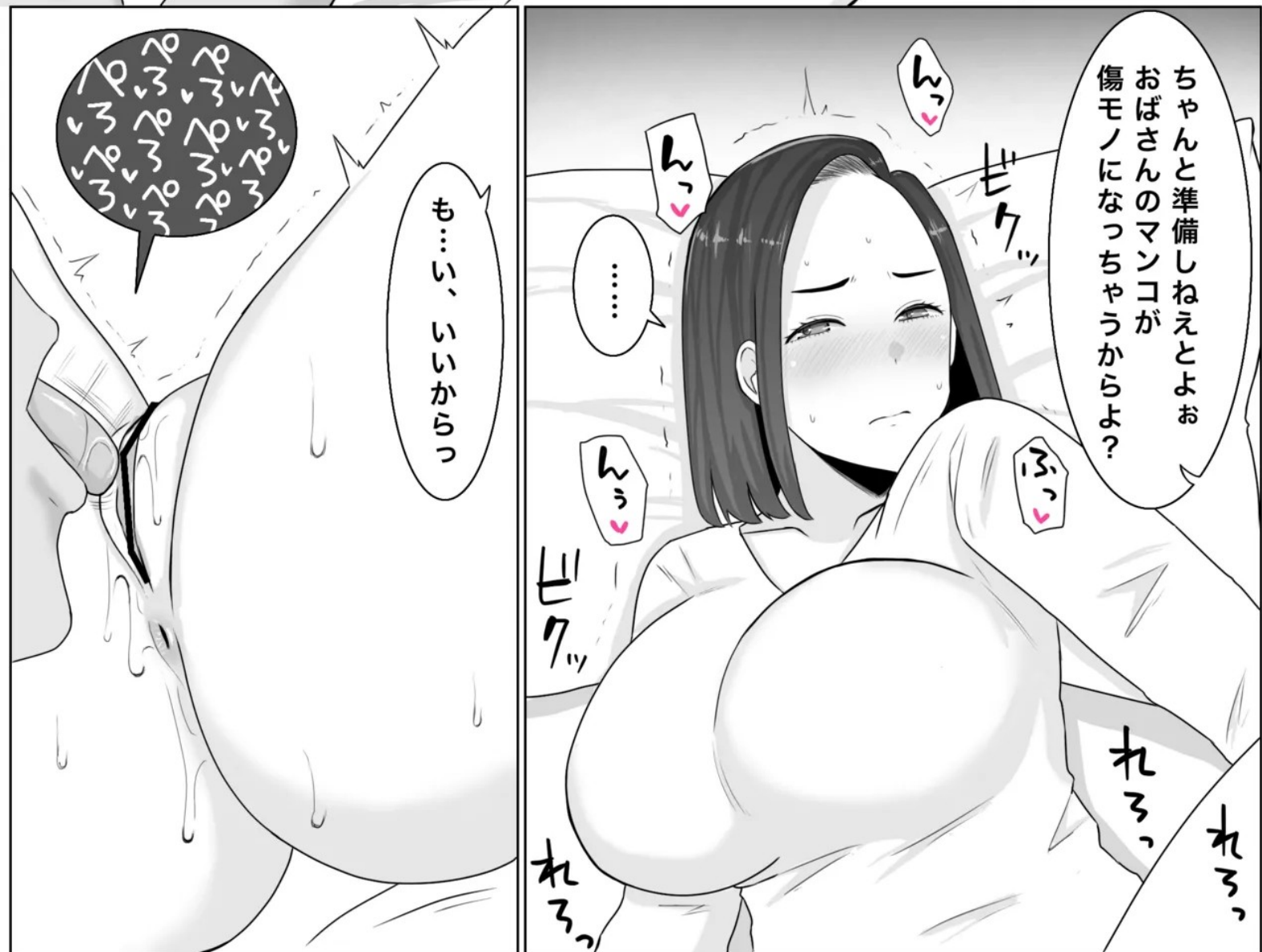
子宮を提供することを義務付けられた。
例えばそれが同級生の母親であっても：

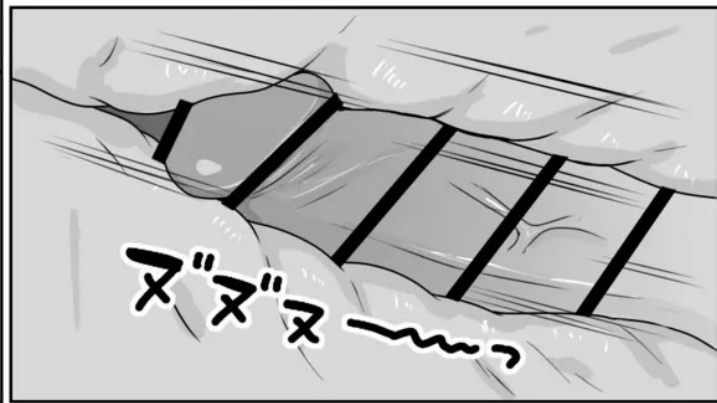
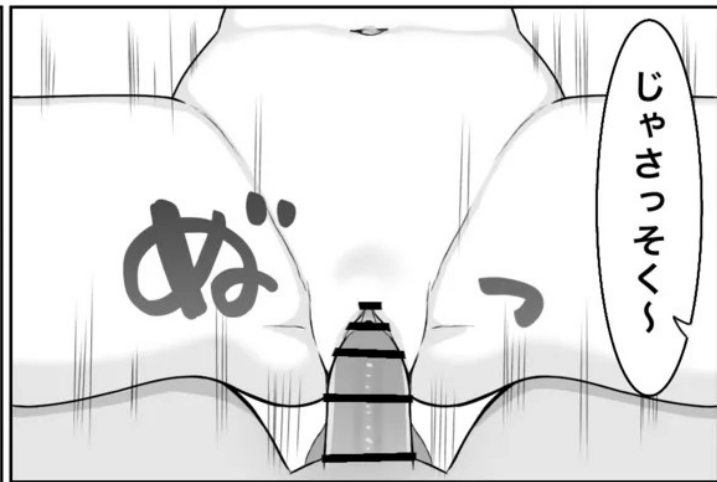
「きーん」

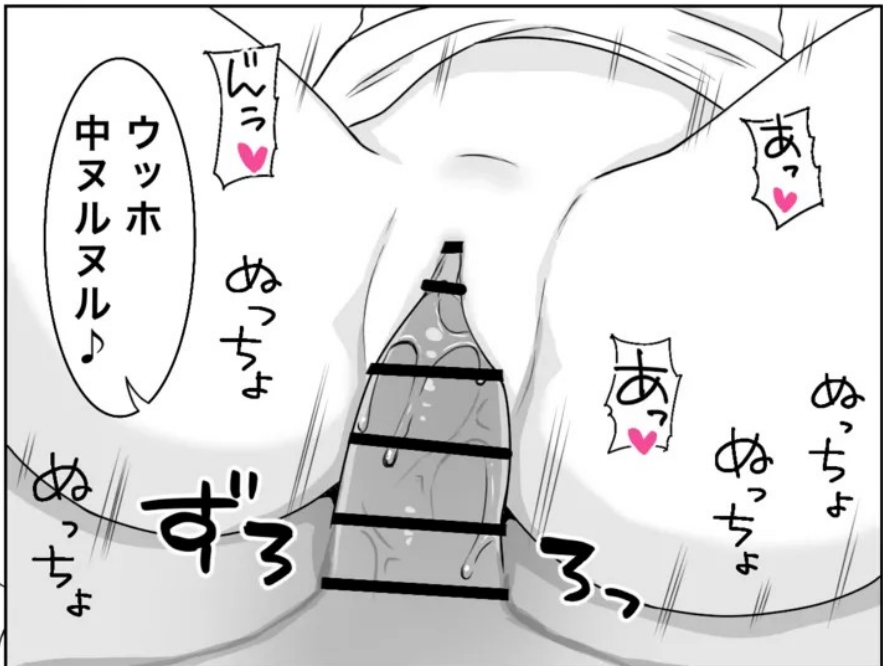
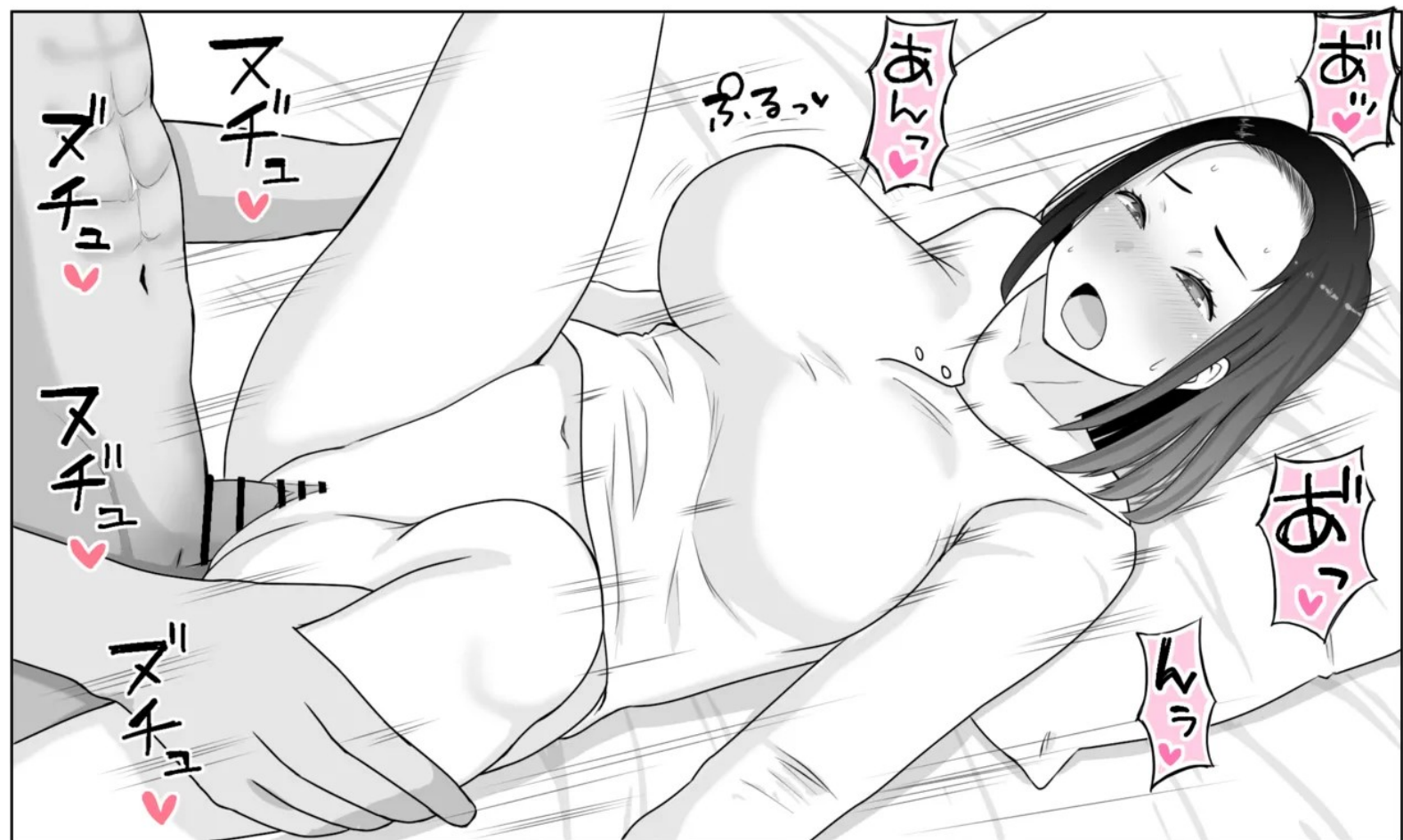


これは精力絶倫の男子に
強力な権限を与え

自由な生殖活動を
奨励するものであった：







ホントに妊娠しちゃうつ！
赤ちゃんできちゃうつツ

いやあああッ

ビクッ

ビクッ

ぎゅっ

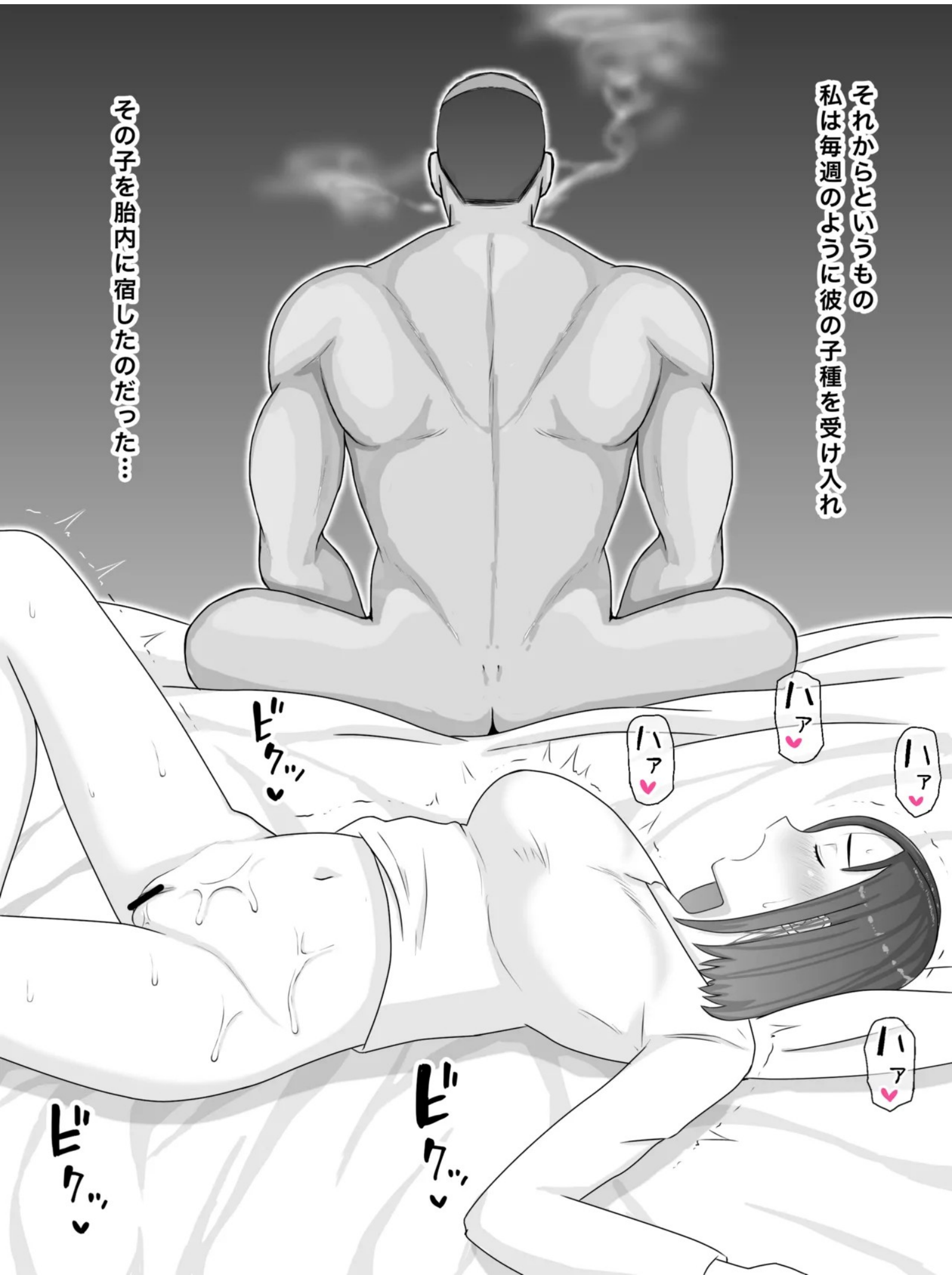
クッ

ッ



それからというもの
私は毎週のように彼の子種を受け入れ

その子を胎内に宿したのだった…



そんなこんなで…

いつしか安定期も過ぎ…
あとは出産を待つばかり
になった。

この子が産まれれば
私は解放されて…

ウェーイ♪
パパが来ましたよおおん♪

きゃああああ…

カッ

ばっ

勝手に入ってこないでって
言ってるでしょ！

うははは
最近ご無沙汰
だったからよお

んっ

むにっ

こ…ら…
やめてっ…

お婆さんの溜まった性欲を
俺が発散させてやろうと
思っとな

ぐいっ

カリ
カリ

カリ

カリ

カリ

カリ

カリ

あ

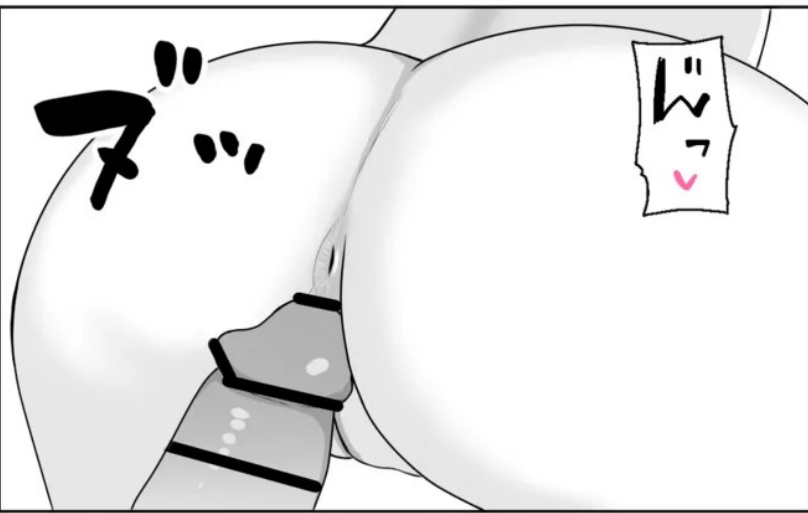
かばっ

A black and white manga-style illustration of a pregnant woman with long dark hair, looking slightly distressed with sweat drops on her face. She has very large breasts. The background is dark with several pink, stylized sound effects that look like 'ドッ' (Dop) with small hearts. A speech bubble is positioned to her right.

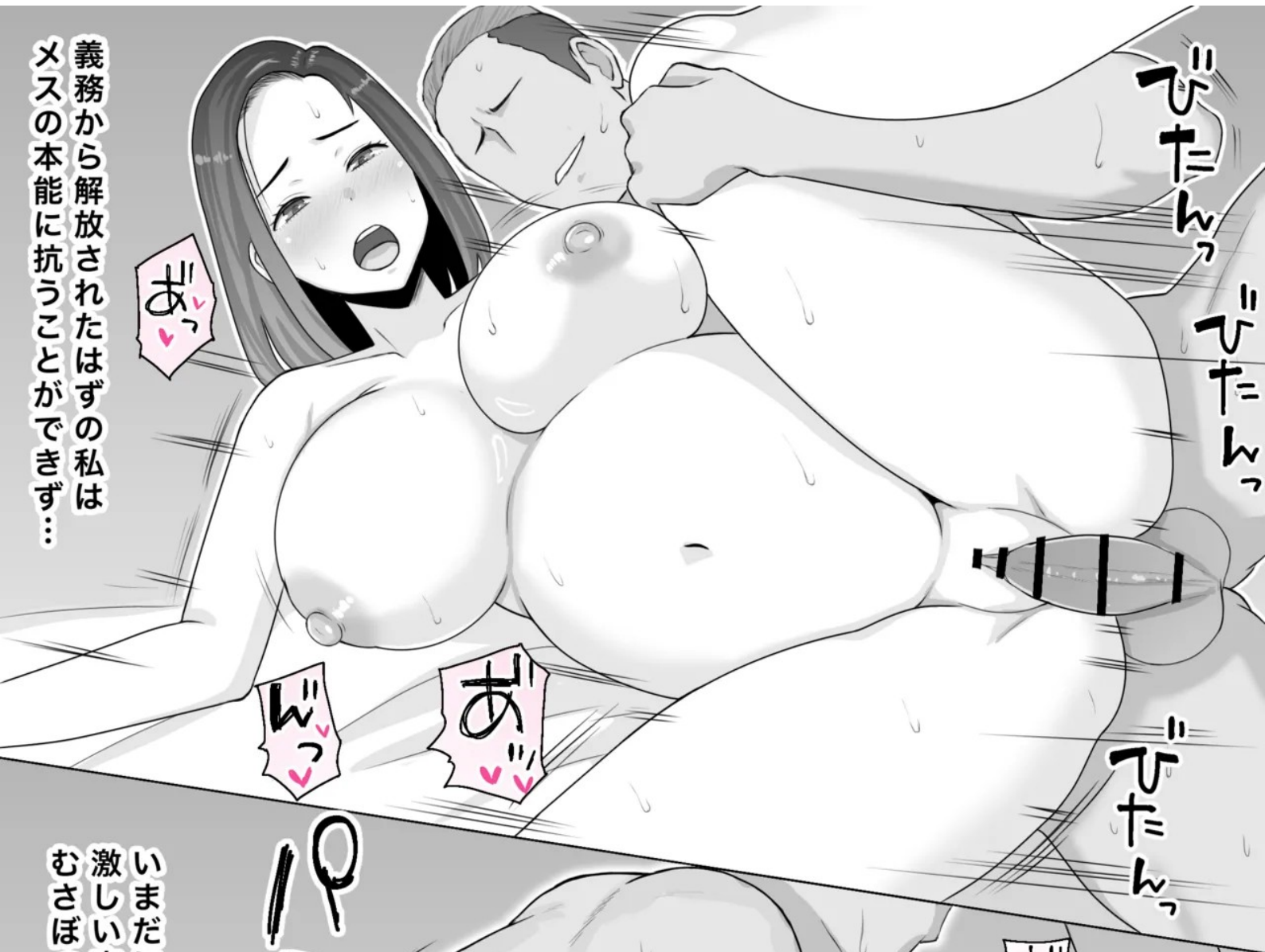
べ、別に私は
溜まってなんか
いないわよ…

健康維持のため妊娠中の繁殖母は
適度な運動が義務付けられる。

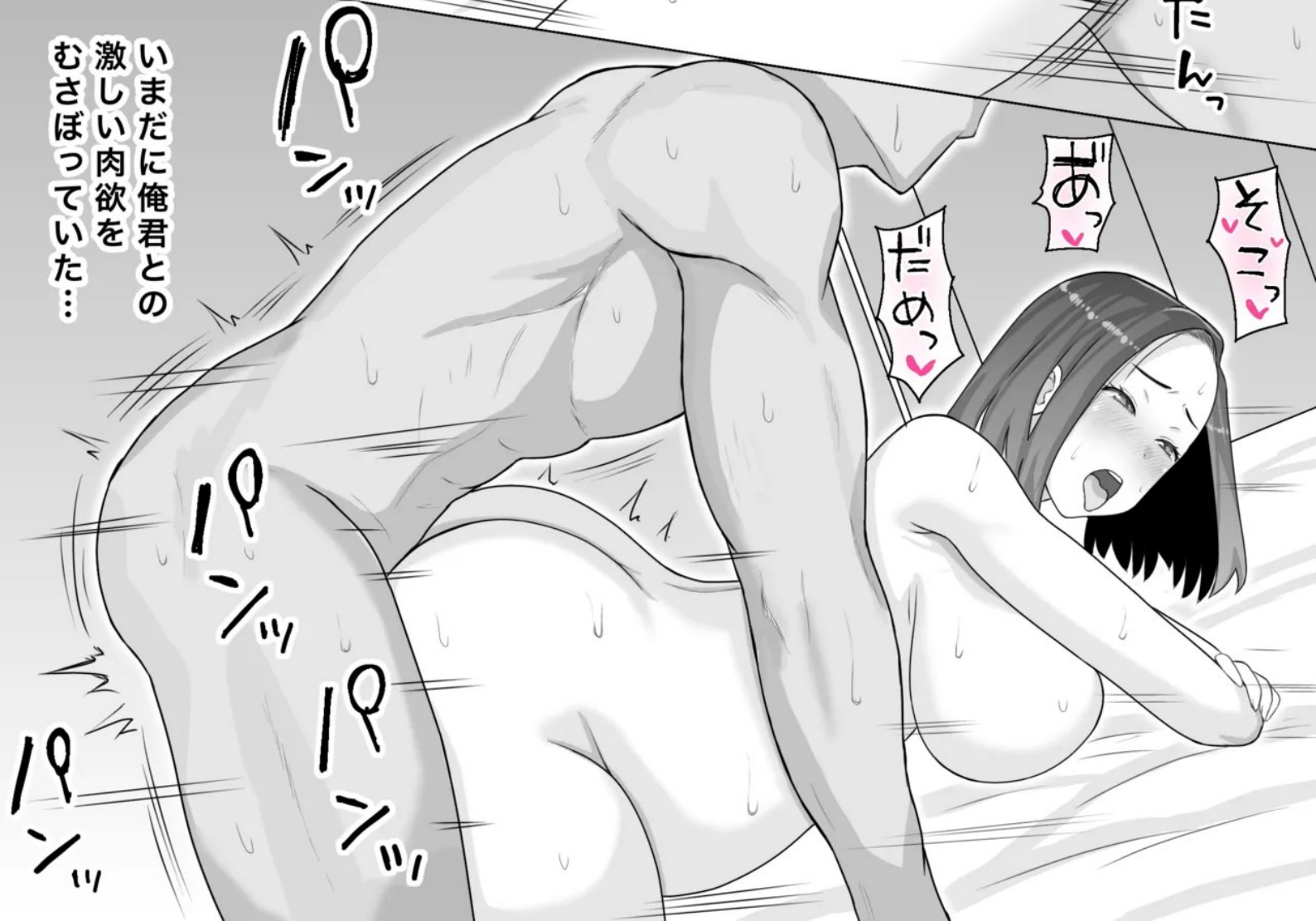
どうしてもという場合
運動療法は性行為によって
代替することも許可される。



義務から解放されたはずの私は
メスの本能に抗うことができません…



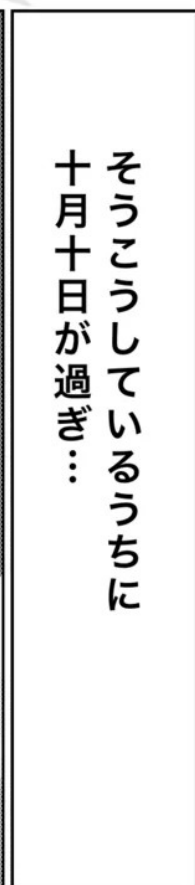
いまだに俺君との
激しい肉欲を
むさぼっていた…

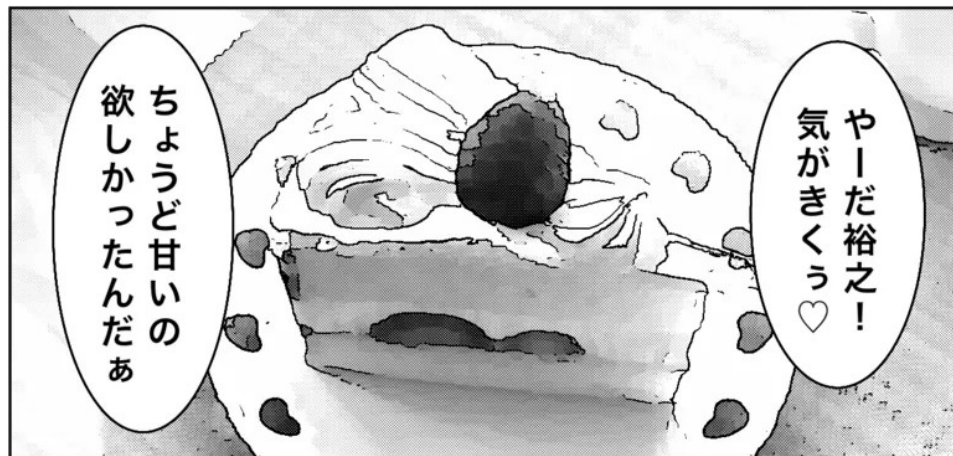






こんな調子で私は：
お腹の赤ちゃんを口実に
俺君との淫らな関係を
続けていたのだった：





邪魔すんで〜

ガララッ

そのこと
なんだけどね…

あ〜…ははは

お前はもうお役御免
のはずだろっ！

てっ…てめ
何でここにっ!?

小久保クン
じゃん

アレ？

んっ♡

ビクッ

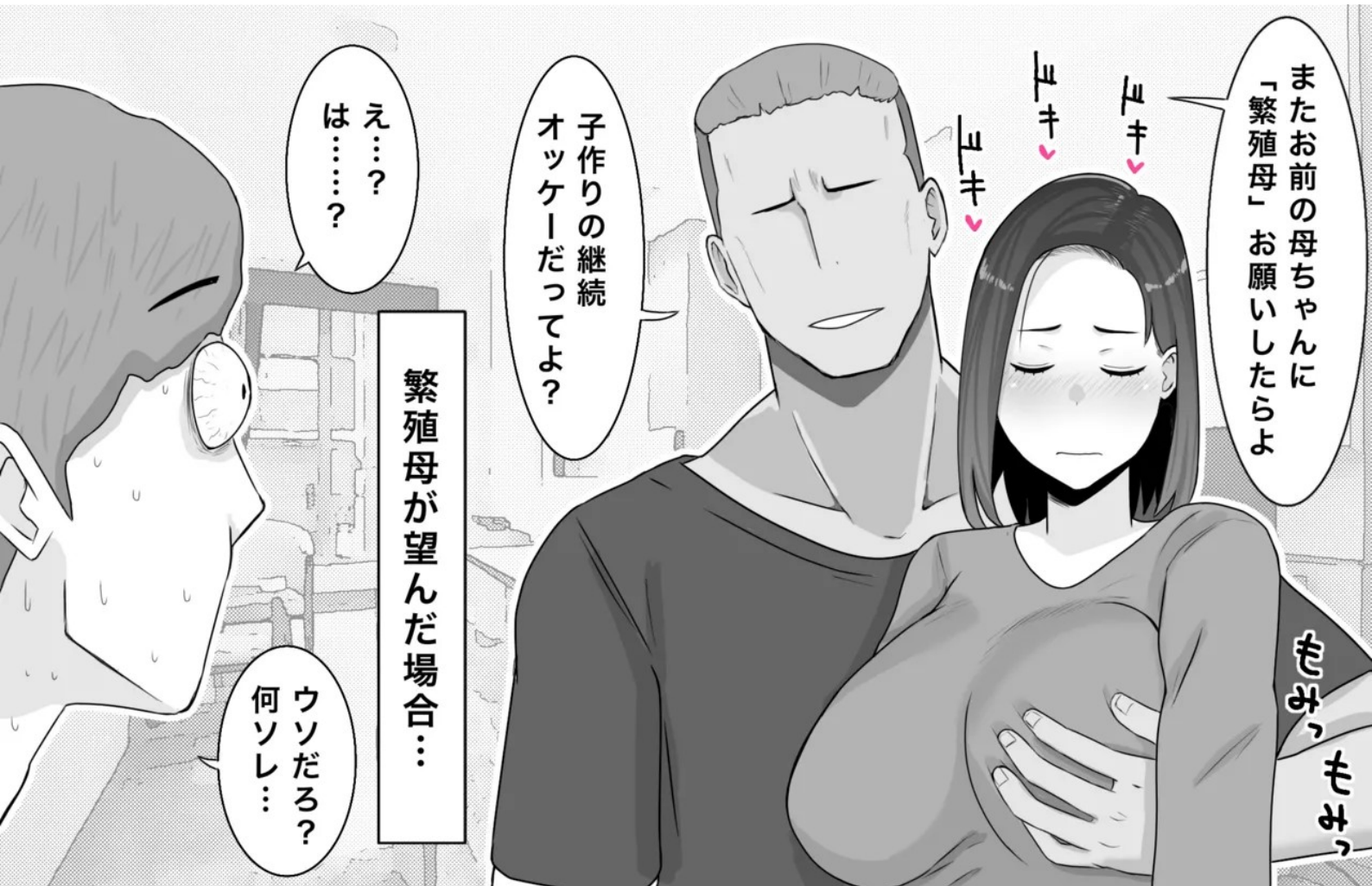
解放されるが…

もにゅっ

そーじゃねえ
んだよなア
これが♪

ガシッ

ど、どういう
意味だよっ？



来年にはパパが
出張から帰ってきて…

そしたらまた
今まで通り3人で
楽しく暮らせるんだ…

国がやってる事なんか
どうでもいい。
だってママは…僕の…

僕だけの…ママ…

ああん…
そ、そうだよ

はあ♡

わ、私の
おマンコは

俺君だけの
ものだよお…

んっ♡

はあ♡

はあ♡

あっ♡

生まれただかりの赤ちゃんを
病院に預け
恥じらいもなく俺君との
子作り交尾を再開する…

くっちゅ♡

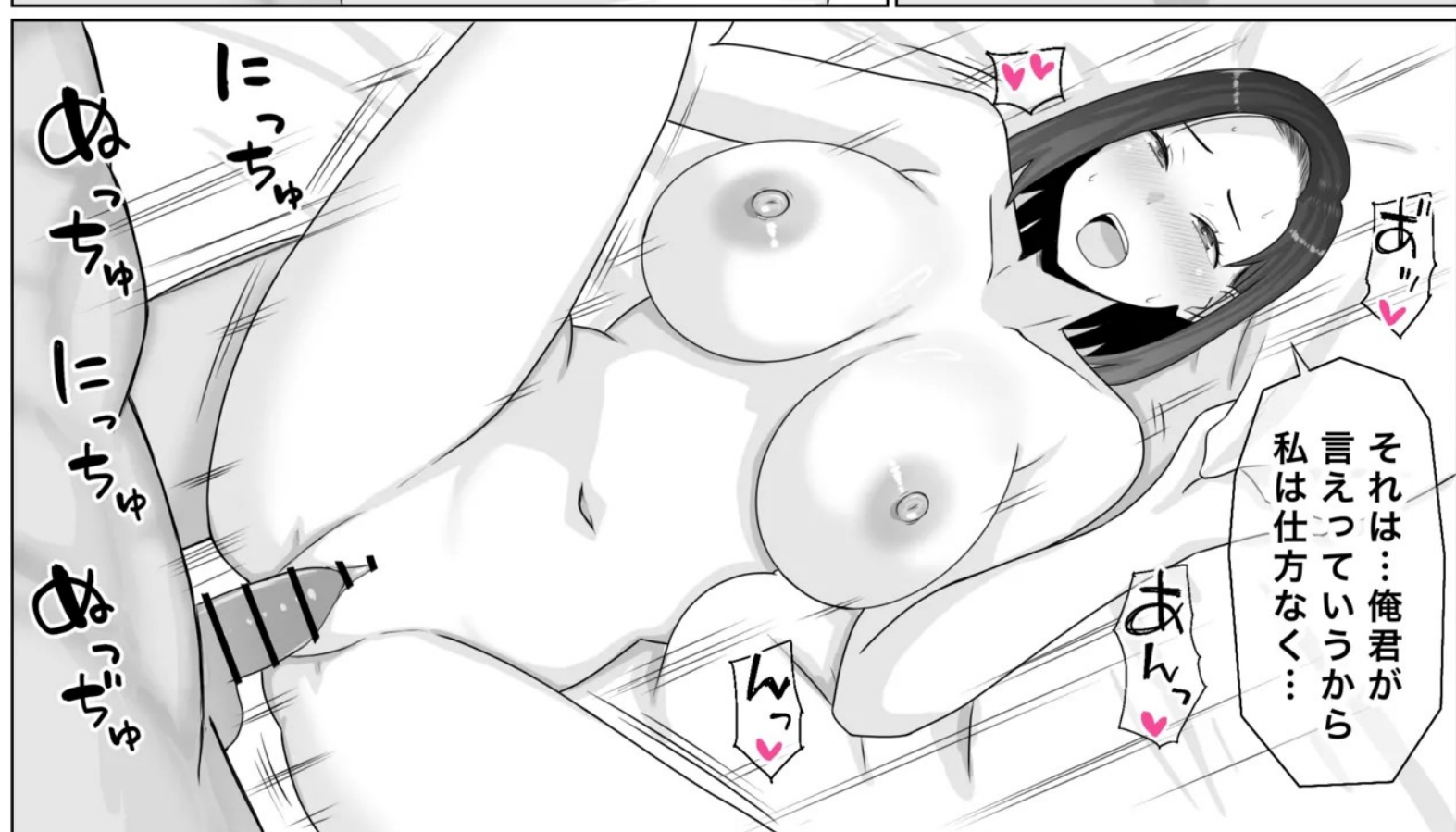
にゅゅ♡

にゅゅ♡

くっちゅ♡

ぬゅゅ♡

にゅゅ♡



あっ♡あっ♡
おマンコっ…
気持ちいいッ

あんっ♡

あっ♡

んっ♡

んっ♡

私は…この淫らな行為を
待ち望んでいたのだった…

ぶるっ

ぶるっ

おっパッパ

おっパッパ

おっパッパ

おっパッパ

あっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

あっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

どちゅっ
どちゅっ
どちゅっ
どちゅっ
どちゅっ

おっパッパ

おっパッパ

おっパッパ



あゝゝゝ

な、何言って…
おっぱいは…んっ
赤ちゃんのもので

あんたが飲む
ために出てるんじゃ

あつ…ダメ
出ちゃうっ

んゝゝ

おっぱい
出ちゃうっツ

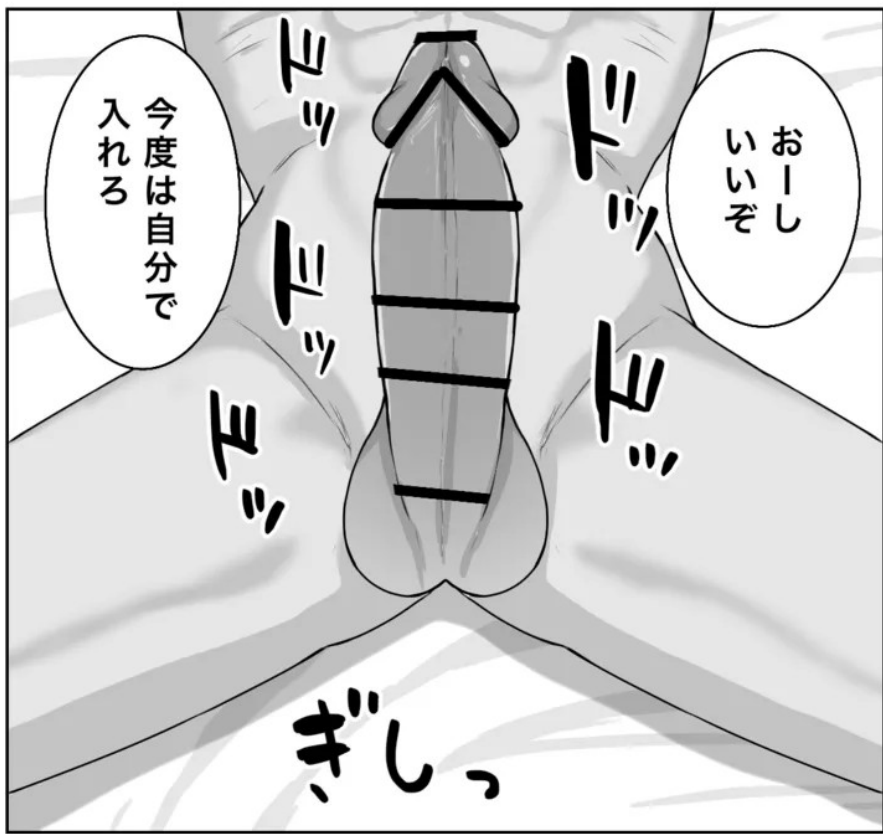
やだゝゝ

んぢゃーゝゝ

ビクゝゝ

おっぱい
No No No





あっ♡

あっ♡は…♡
おっき…いッ

ん♡

あっ♡

ビクッ

あっ♡

た=んっ

た=んっ

すろろ

た=んっ

ふ"るっ♡

た=んっ

おいおい
さっきより中
ヌルヌルじゃねえか

とろっ…♡

ぬっちよ

ぬっちよ

あんたが変なこと
する…からっ…

そっちこそ…
よ、余裕ない…んッ
顔してるわよっ

ん♡

あっ♡

ん♡

ずっちゅ

ずっちゅ

ずっちゅ

ずっちゅ

ほ、ほらっ…
こういうの…ん♡
好きなんでしょ？

おっ…スゲ

あっ♡あっ♡
らめええっ

おまんこおかしく
なっちゃううッ♡

俺君のが
奥まできてる…

うははは
いい声でるじゃん

子宮が反応して…

妊娠したがってるッ

出しっ…て♡
妊娠…させてッ

っしやああイクぜええ
しっかり孕めよおっ



自己嫌悪…

いくら久しぶりだからって
あんなに恥じらいなく自分から
求めてしまうなんて…

もしもし？
あー、もう時間？

延長？

おい、延長するかってよ
俺は別にいいけど、どうする？

お、大きなお世話よっ
私は満足とかそんな…

おう、どうだあ？
マンコ満足したか？

プルルッ

ゴクッ…

……

はあ？私だって…
別にどっちでもいいけど？

時間ならあるし…
あんたが納得いくまで
た、た、種付けすれば
いいじゃない…

ドゥ♡

ドゥ♡

ドゥ♡

ドゥ♡

ドゥ♡





こ、こうやって
激しくすれば
いいんでしょう!?



俺君の要求に
応えるように

散々教え込まれた性技で
おチンポを追い込んでいく



ウホホッ
それも気持ち
いいぜえ





ドクッ

びゅん

きゃッ!?

ア

アッ!!!

やだもお..
ネトネト

ドキ

ドキ

ドキ

さ、さあつ
言われた通り
一発抜いてあげたんだから

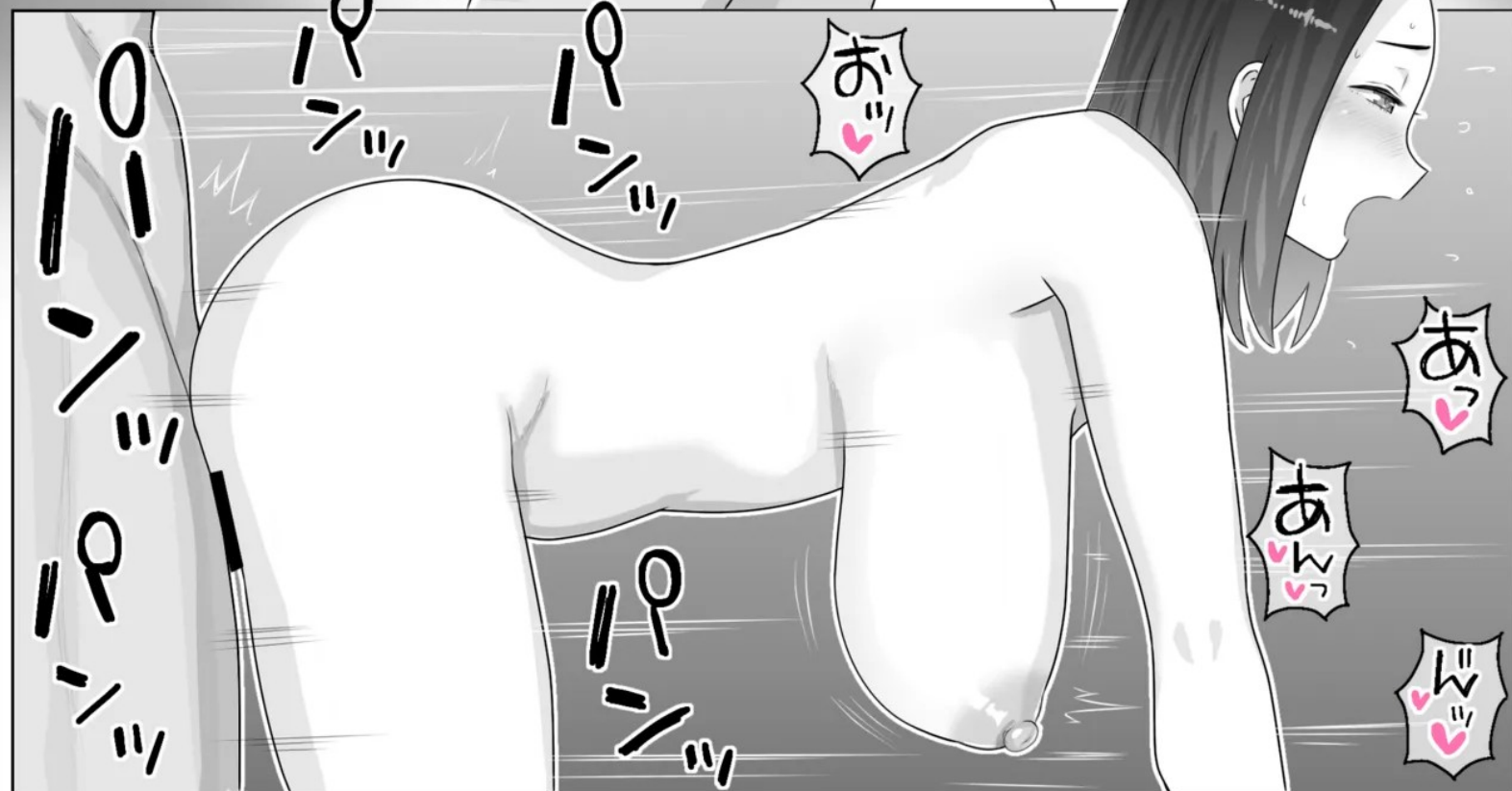
ドキ

ドキ

残りの精子で
しっかり私のこと
孕ませなさいよっ！

く
ぱっ
っ

ポタッ





ナカ
膣内
ビリビリするっ

あっ

俺くっ…あっ♡
奥ッ♡すごいっ

あっ

あッ

バゴッ

バゴッ

バゴッ

んっ

バゴッ

バゴッ

あんっ

熱く勃起した俺君に
私の肉壁が淫らに
絡みついでいく…

ふっ

あっ

あっ

おん

おん

夫も息子も
平穩な家庭も忘れ…



私は若いオスに
むしゃぶりついてた。







私っ…孕ませられて
いくいくいく…

あっ…もうらめっ

ふっ
ふっ

ふっ
ふっ

び

ゅっ

イキ果てて
ぐったりした意識の中：

はぁ♡

はぁ♡

子種を受け入れた子宮が
再び活発に動き出したのを
私は感じていた：

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

ふっふっ
うわっ

やーだ
もうこんな時間！

バタ
バタ

ママっ



ごめんね、
すぐご飯するから！

キゅっ



辛い行為をさせられて
いるはずなのに…

帰宅したママは
何だか嬉しそうだった…

今日は
イカ料理だよー♪

そんなママに僕は…
不謹慎にも
女を感じてしまった…



終わり